

# 遠き空の下よりさらしなへ



## ブラジル・サンパウロ在住の 野澤（旧姓更科）由紀子さんの手紙

「更科」という姓に生まれたブラジル・サンパウロ在住の女性がいっぱいいます。野澤（旧姓更科）由紀子さん。新潟県燕市の更科家の「一族で、ご自身のルーツをたどって、さらしなのある長野県千曲市にも2007年においでになりました。その折り佐良志奈神社でさらしな堂制作の「古今さらしな集」をお買い求めになったのがご縁で、お手紙やメールのおつきあいをさせていただいています。最初にいただいたお手紙が大変感動的で、野澤さんのお許しを得て掲載しました。さらしながワールドワイドであることうれしくなります。また、お目にかかったことはありません。再来日して当地にも立ち寄りたいたいとおっしゃっています。



日本語教室で学んだ  
日系の生徒たち

初めてお便りさし上げます。古今さらしな集を拝見してすぐ筆を取りました。私は旧姓、更科由紀子と申します。昭和十年の生まれで古希を過ぎました。ブラジルに移住して46年になります。現在はサンパウロ近郊に住んでおります。今年10月半ばに訪日し、帰って来たところです。私がさらしなを意識したのは、戦前

上だつたりと何ともいにしへの因縁がないといきれません。最近分かったのですが、ブラジルで最初にお世話になった人が更級郡大岡村の方で小林さん（故人）という方だったので。NHKのテレビドラマ風林火山が国際放送で見られるようになって半年ほど経ったところのことです。息子が「ママ、インターネットで聞けるよ」と言っていて録音してくれました。千住明のサウンドミュージックを聞いているうちに、騎馬武者達が駆け抜けていく姿が目に見え過ぎて行くような気がしたのです。私もアルプスの連峰を見上げたいと思いました。

父は若い頃から土器や矢じりなどの蒐集をしていました。戦後、疎開先の茨城では民族学の学会で、コッコツとやっていました。著書も何冊ありました。同時多発事件があった2001年、父は95歳で亡くなりました。その頃から私は自分のルーツを探したいと思っていました。100年前、故郷を離れて東京に出た祖父の本家を探しました。手帳にあった住所は番地がなかったので、燕市役所に問い合わせました。そして本家を訪ね、三条の菩提寺で父のお骨を永代供養してもらいました。

地図を広げると、飛騨山脈のそばに大岡村がありました。新潟の燕から信濃川、千曲川、犀川とだどってゆけるのです。姨捨と田毎があるのが戸倉でした。ブラジルからどこへ行ったらいのか、皆目分らないので、とにかく戸倉をマークしました。

私達10月半ば、成田に着きました。10月31日、仕事を終えた夫と名古屋で待ち合わせ、下呂の近くの加子母の知人の所に二泊し、中津川から松本にきました。そこで駅の観光案内で相談して美ヶ原の王ヶ頭ホテルへ向かいました。その日晴れる予報でしたのに、山頂は、濃霧でがっかりでした。すると夜中を過ぎて時々月がぼうつと現れるのです。カーテンをひいて眺めていますと、次第に霧が晴れてゆき、とろりと溶けそうな月が輝いていました。その銀色の月の光の中でいつか幸せに眠っていました。

翌朝、御来光を拝み、360度次々に現れる山々を見て感激しました。軽装だったので、ふるえあがりしましたが、御嶽山から乗鞍、穂高と次々にしっかり脳裏に刻みましました。最後にうつつすら富士も見え大満足でした。

初めてのお便りさし上げます。古今さらしな集を拝見してすぐ筆を取りました。私は旧姓、更科由紀子と申します。昭和十年の生まれで古希を過ぎました。ブラジルに移住して46年になります。現在はサンパウロ近郊に住んでおります。今年10月半ばに訪日し、帰って来たところです。私がさらしなを意識したのは、戦前

行ったことがありますよ」と言うのです。感が的中していました。それで戸倉に行くことに決めました。

駅に着くと「さらしなの里へようこそ」と書かれているではありませんか。タクシーで真つ直ぐ佐良志奈神社へ向かいました。宮司さんが御親切に色々、教えてください。古くさらしな集を求めました。その日は週末の土曜日だったので千曲川と月に見えるホテルがとれませんでした。翌朝、ガイド付きのタクシードで3時間ほど遺跡を巡って上田から東京へ帰りました。

初めてのの方に長々とお便り致し失礼と存じますが、私が遥かに更級の里を思い描き続けていたことをお伝えすることができましたでしょうか。私も遠い地球の裏に置き去りにされるであろう姥かもしれません。

現代では「かぐや」が月面探査をする時代になりましたが、私はやはり千曲川の見える宿で、もう一度祖先の見た月を味わいたいと願っています。昨年から自分史を書いていきますので、今度訪日した時には、さらしな堂へお邪魔してよろしいでしょうか。末筆になりましたが、御家族の皆様にもよろしくお取次ぎ下さいませ。

2007年11月15日 野澤由紀子

私イメージでは、信州信濃の山奥の：だったのですが、燕は越後平野の豊かな穀倉地帯に見えました。この本家は農地改革以前はかなりの地主だったように思います。現在当主は16代目になります。戦後すぐ、この人の祖父（14代目）が懸賞金をつけて家系図を探したと記憶しています。また、本家から出たアイヌ

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

とは別のようですね。源蔵さんからは私も著書や手紙をもらっています。燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで

燕には戸隠神社もありましたし、私の曾祖母の姓が大塚だったり、母の姓が村

下山のバスの時間があつたので、ホテルで土産品を見ていると、通りがかった従業員らしい人が「戸倉なら、さらしな神社がありますよ。娘とサイクリングで



野澤由紀子さん。孫のカロリーナ・ゆみ・国分さんと一緒に